

福岡県自転車利用に関するアンケート調査

報告書

令和4年3月

福岡県

目次

調査概要	1
1. 回答者の構成	1
2. 自動車の利用状況について	2
3. 自動車やバイクの運転免許の保有状況について	3
4. 自転車に対するイメージについて	3
5. 外出時の移動手段と利用状況について	4
6. 自転車を利用する目的、利用頻度等について	4
7. ヘルメットの着用について	7
8. 自転車損害賠償保険等の加入状況について	7
9. 自転車損害賠償保険等の加入が義務化されたことについて	8
10. 自転車を利用する際に危険を感じた場面について	8
11. 自転車を利用する際のルート選択にあたり重視する事項について	9
12. 歩道のある道路を自転車通行する際、車道又は歩道を通行する理由について	10
13. 駐輪場の設置を希望する場所について	11
14. 自転車の利用を通じた健康効果に関する認識について	11
15. 自転車を利用しない理由について	12
16. 自転車を利用するために必要な事項について	12
17. 歩行者として危険を感じたことのある自転車について	13
18. 車を運転する際に危険を感じたことのある自転車について	13
19. 自転車に関する交通ルールの認識と遵守状況について	14
20. 自転車に関する安全教育の受講状況について	15
21. 運動習慣について	15
22. 継続した運動習慣がない理由について	16
23. 自転車を利用した健康づくりへの興味について	16
24. 自転車を利用した具体的な健康づくりについて	17
25. 自転車で観光地を周遊する際の立寄り先について	17
26. 自転車で長い距離を走行する際の休憩場所について	18
27. 福岡サイクルステーション※について	19
28. シェアサイクル等※の利用状況について	20
29. シェアサイクル等の利用目的について	21
30. シェアサイクル等の貸出・返却ポートの設置を希望する場所について	21
31. 自転車の利用を促進するために必要な施策について	22
32. 新型コロナウイルス感染症の流行前における日常生活での自転車利用について	23
33. 新型コロナウイルス感染症の流行前における自転車を利用する目的、利用頻度等について	23
34. 新型コロナウイルス感染症の流行後における自転車の利用状況の変化について	26
35. 新型コロナウイルス感染症の収束後における自転車の利用意向について	27

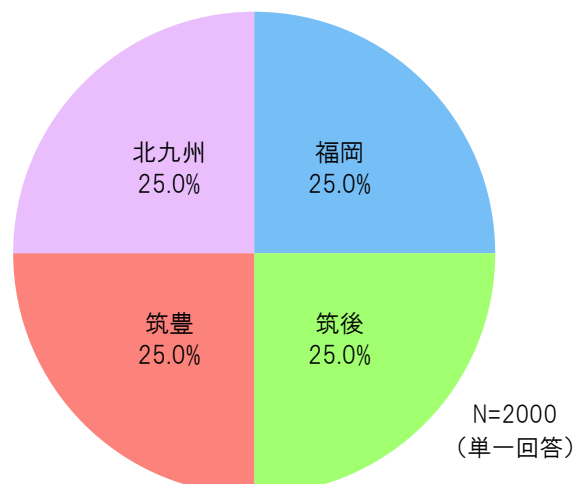
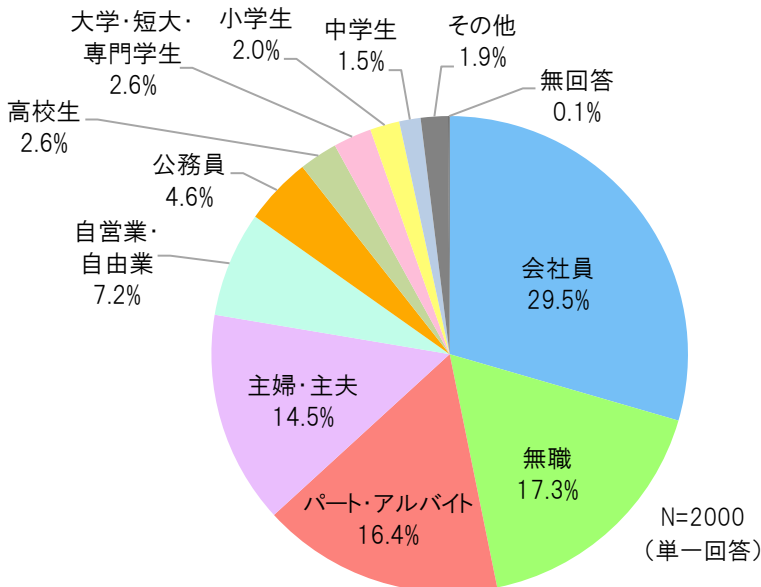
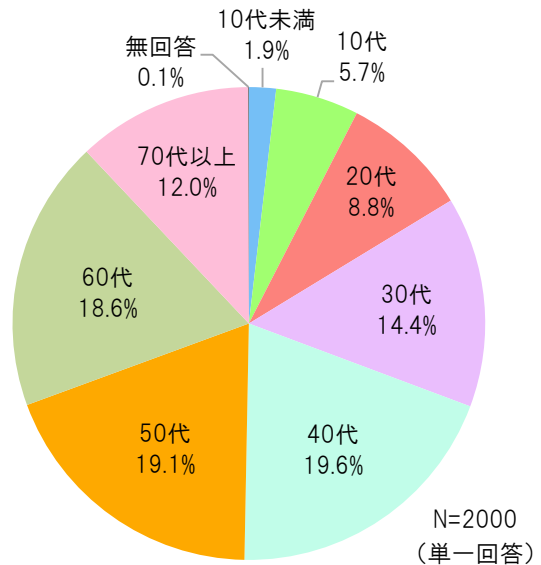
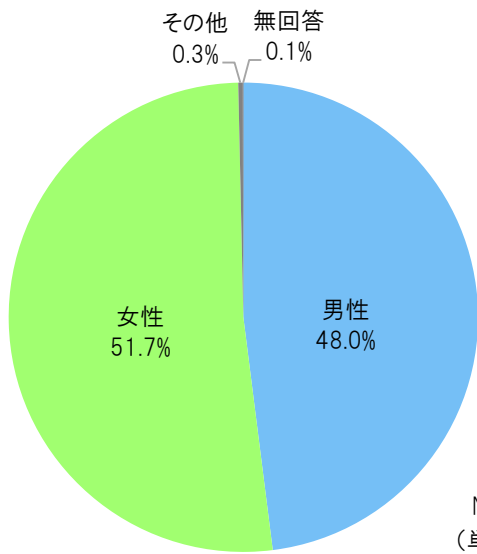
福岡県自転車利用に関するアンケート調査

調査概要

- 調査地域 福岡県内
- 調査対象 県内の18歳以上の居住者
(ただし、回答者本人が自転車を利用しておらず、家族が自転車を利用している場合は、18歳未満の家族も含め、その家族を調査対象とする)
- 標本抽出方法 層化二段無作為抽出法
- 調査手法 WEBによる調査と郵送配布による調査
- 調査期間 2021(令和3)年8～10月
- 回答数 2,000人

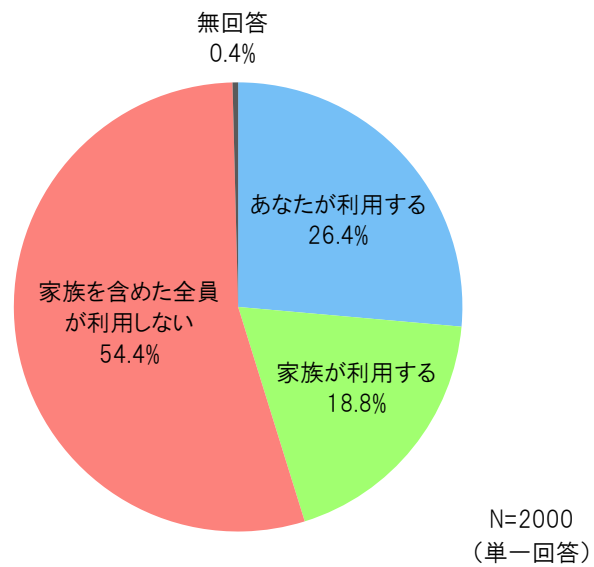
※集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計が100%にならない場合があります。

1. 回答者の構成

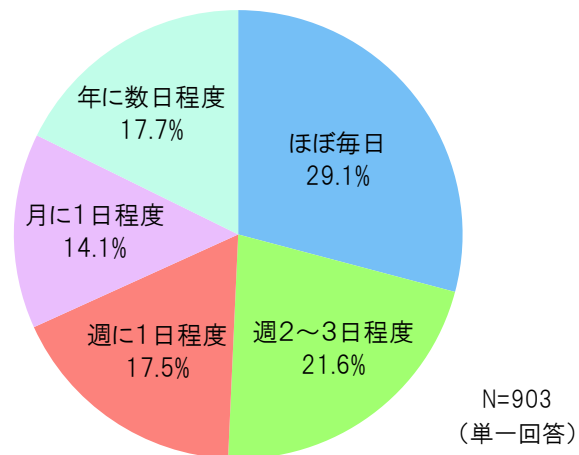


2. 自動車の利用状況について

回答者または家族が自転車を利用すると回答した割合は、あわせて 45.2% となっています。

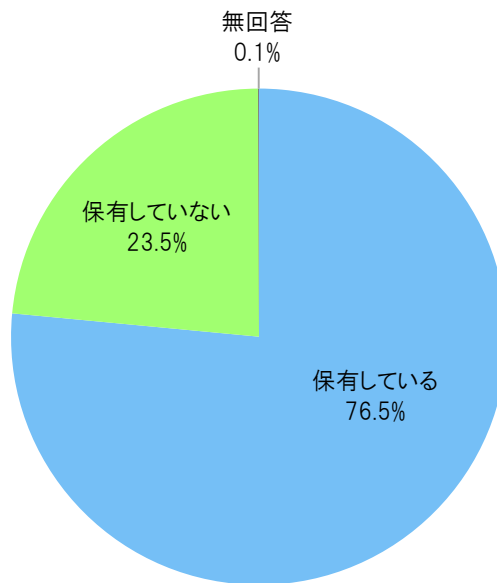


上記の設問で、「あなたが利用する」または「家族が利用する」と回答した人における自転車の利用頻度は、約 3 割が「ほぼ毎日 (29.1%)」、約 2 割が「週 2～3 日程度 (21.6%)」となっており、半数以上が高い頻度で利用しています。



3. 自動車やバイクの運転免許の保有状況について

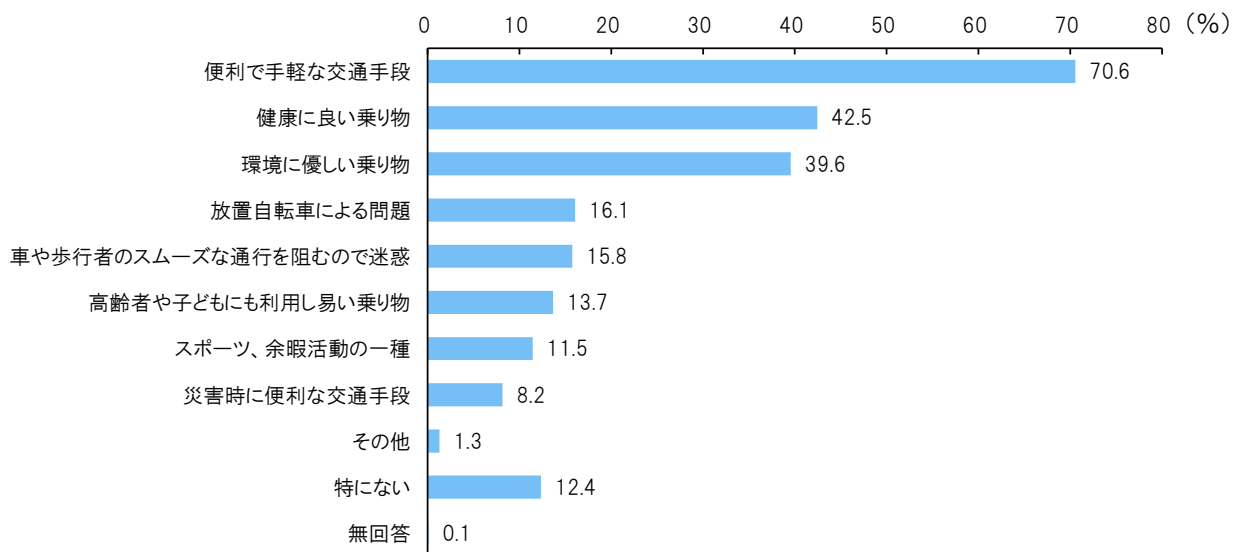
自転車やバイクの免許の保有状況は、「保有している」と回答した人が76.5%と高くなっています。



N=2000
(単一回答)

4. 自転車に対するイメージについて

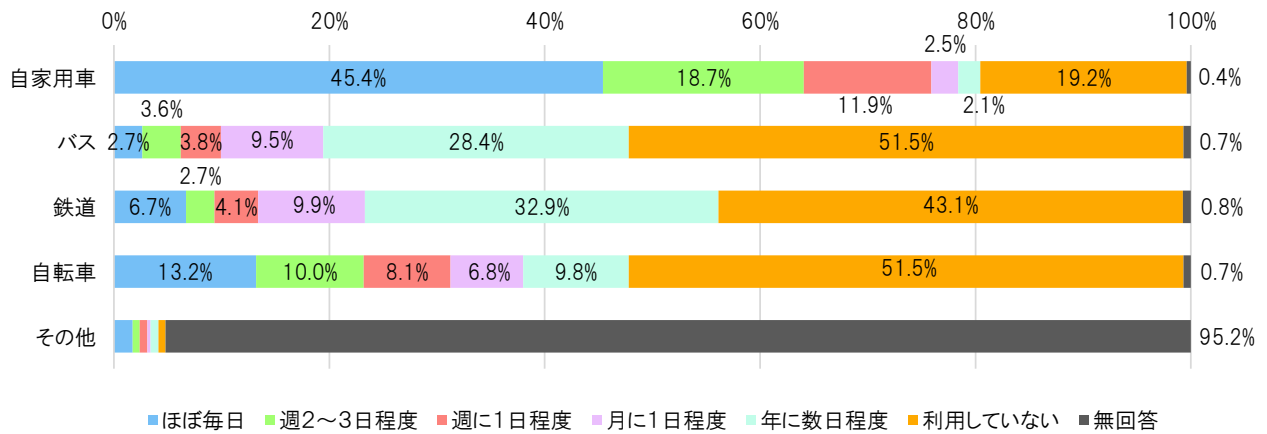
自転車に対するイメージとしては、「便利で手軽な交通手段 (70.6%)」、「健康に良い乗り物 (42.5%)」、「環境に優しい乗り物 (39.6%)」が高くなっています。



N=2000
(複数回答)

5. 外出時の移動手段と利用状況について

自転車の利用状況については、「ほぼ毎日（13.2%）」、「週2～3日程度（10.0%）」、「週に1日程度（8.1%）」が高くなっています。



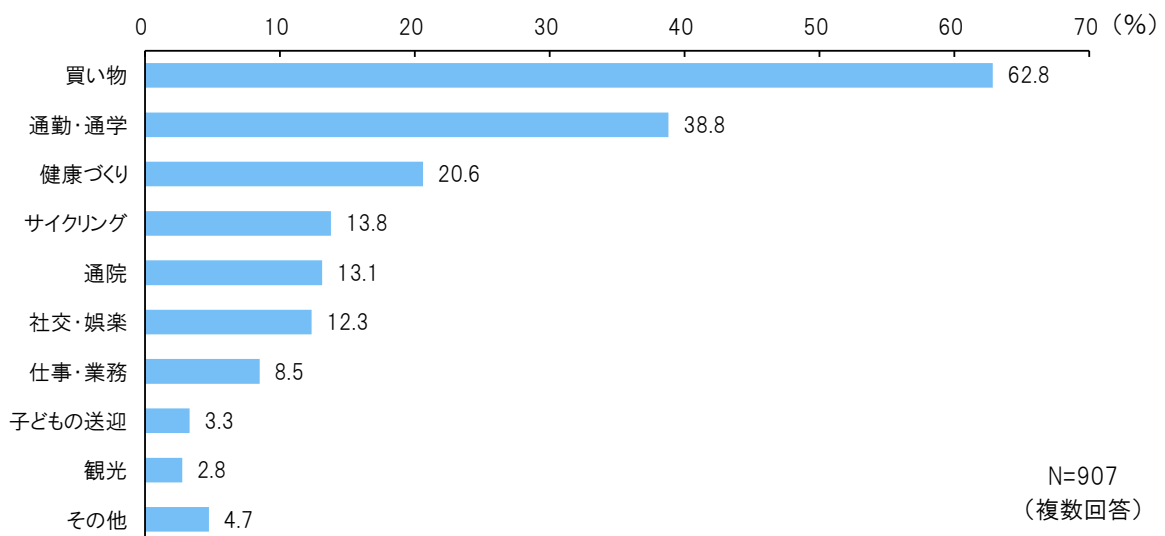
N=2000
(単一回答)

6. 自転車を利用する目的、利用頻度等について

※ 対象：自転車を利用する人

[利用目的]

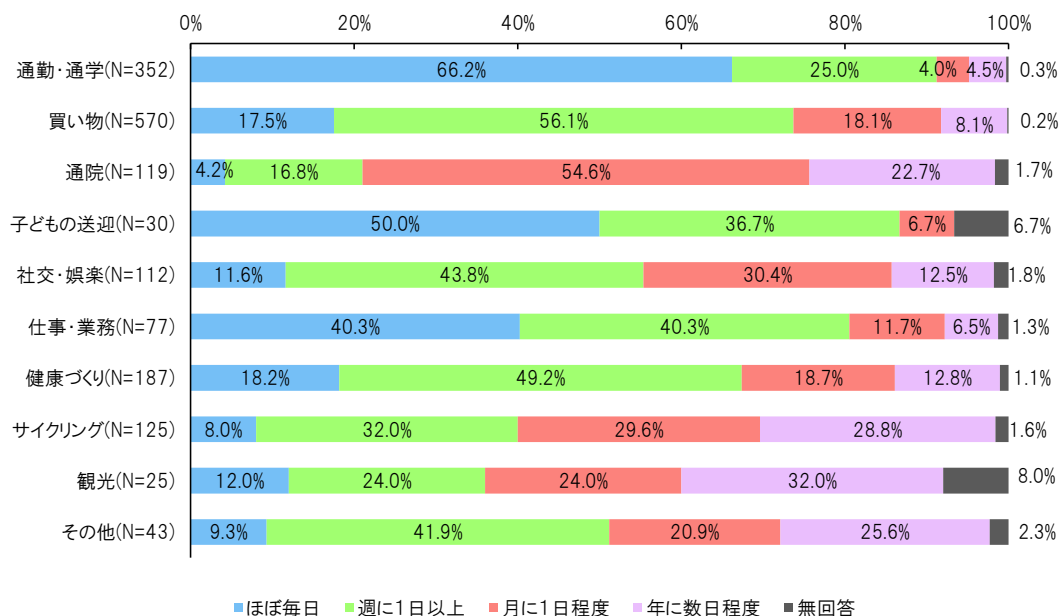
自転車の利用目的は、「買い物（62.8%）」、「通勤・通学（38.8%）」、「健康づくり（20.6%）」が高くなっています。その他としては、「近所への用事（郵便局、銀行、近所宅等）」、「地域行事、町内見回り、集会等」等となっています。



N=907
(複数回答)

[利用頻度]

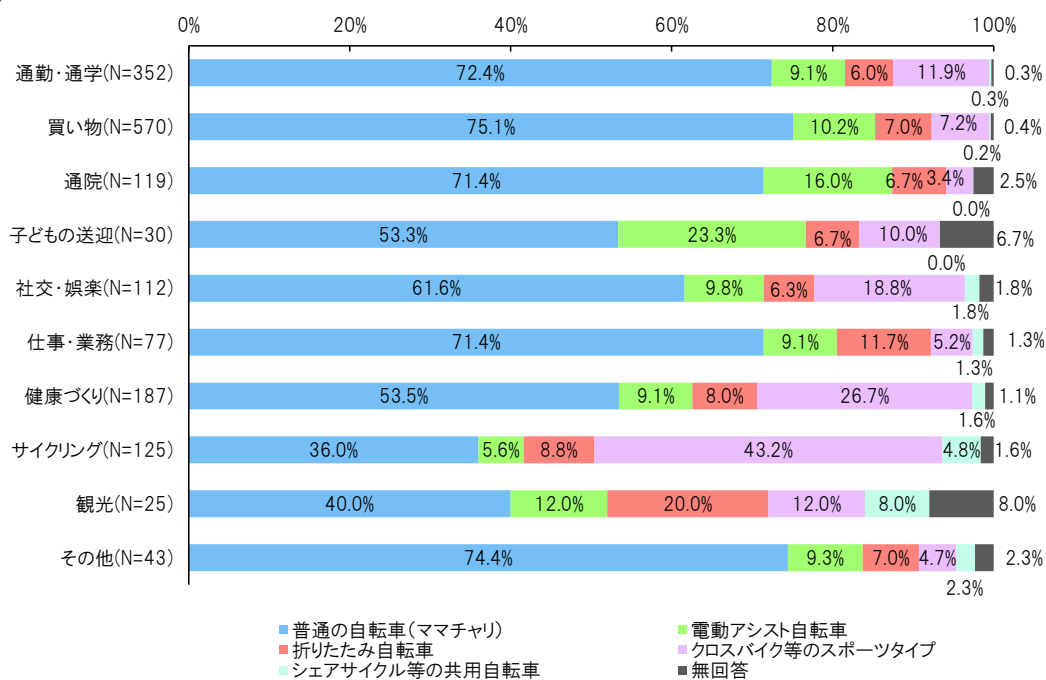
自転車の利用頻度は、「通勤・通学」「子どもの送迎」では、「ほぼ毎日」が最も高く、「買い物」「社交・娯楽」「健康づくり」「サイクリング」では、「週に1日以上」が最も高くなっています。「仕事・業務」では、「ほぼ毎日」と「週に1日以上」がいずれも最も高くなっています。



N=907
(複数回答)

[自転車の種類]

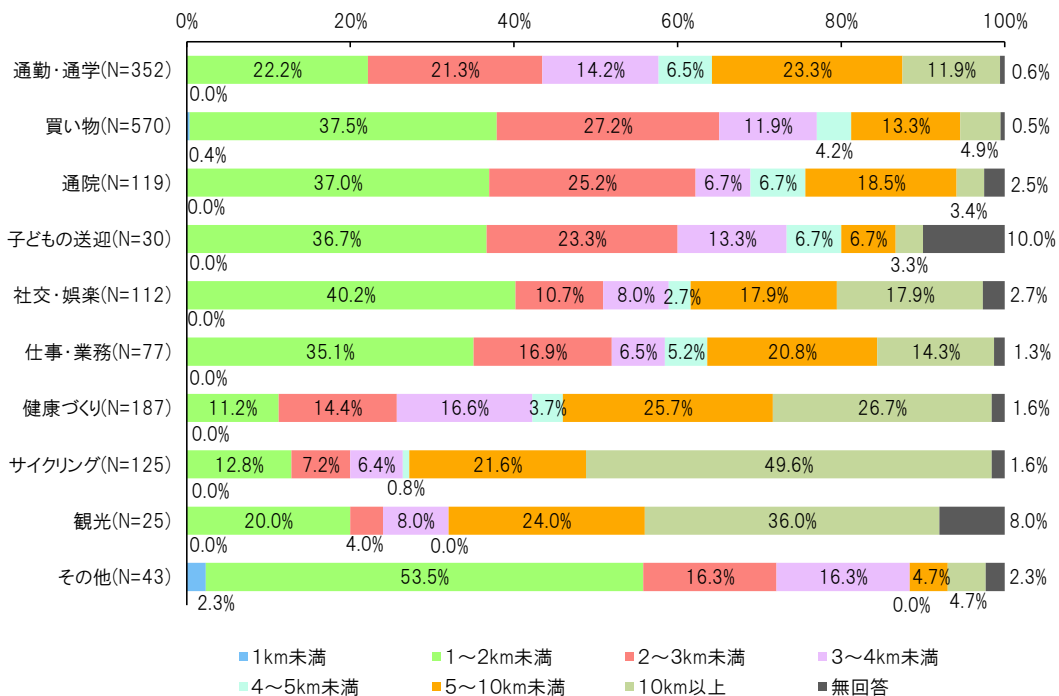
自転車の種類は、「サイクリング」では、「クロスバイク等のスポーツタイプ」が43.2%と最も高く、それ以外の利用目的では、「普通の自転車(ママチャリ)」が最も高くなっています。



N=907
(複数回答)

[移動距離]

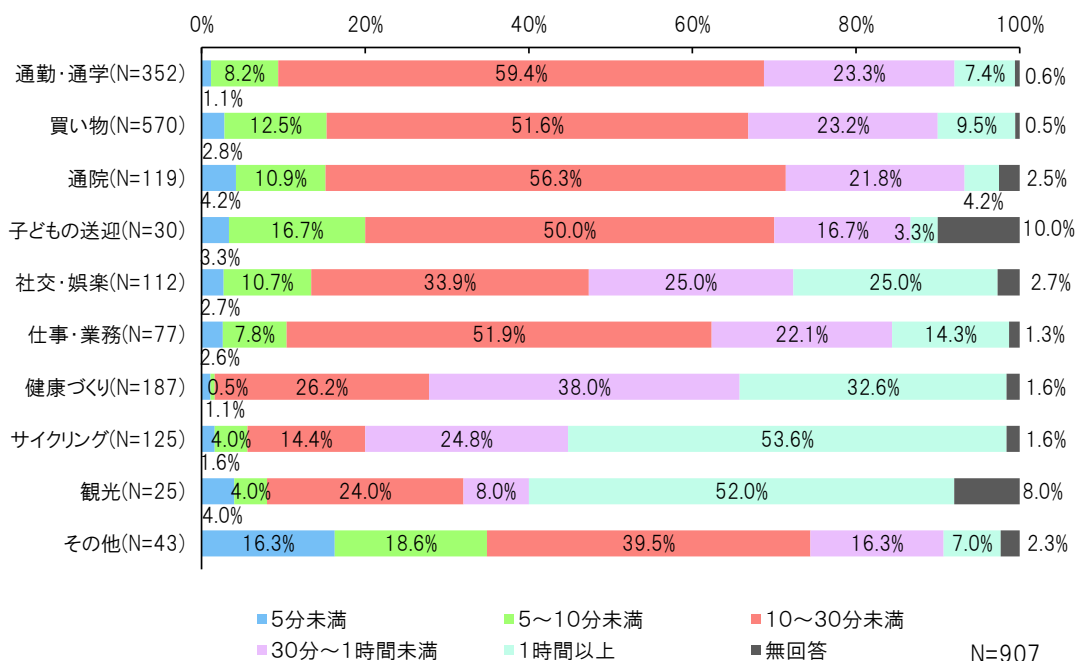
自転車での移動距離は、「健康づくり」「サイクリング」「観光」では、「10km以上」が最も高く、「通勤・通学」では、「5～10km未満（23.3%）」が最も高くなっています。それ以外の利用目的では、「1～2km未満」が最も高くなっています。



N=907
(複数回答)

[移動時間]

自転車での移動時間について、「サイクリング」「観光」では、「1時間以上」が最も高く、「健康づくり」では、「30分～1時間未満」が最も高くなっています。それ以外では、「10～30分未満」が最も高くなっています。

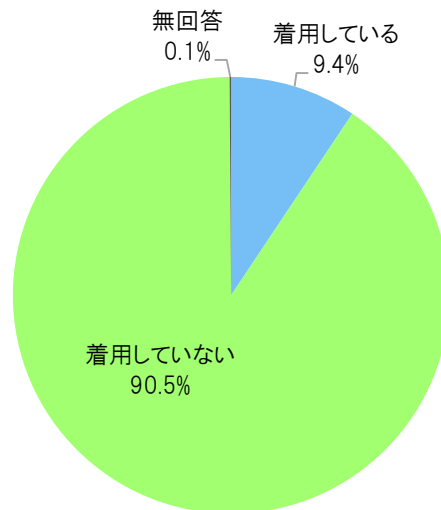


N=907
(複数回答)

7. ヘルメットの着用について

※ 対象：自転車を利用する人

自転車を利用する人の9.4%がヘルメットを「着用している」と回答しています。

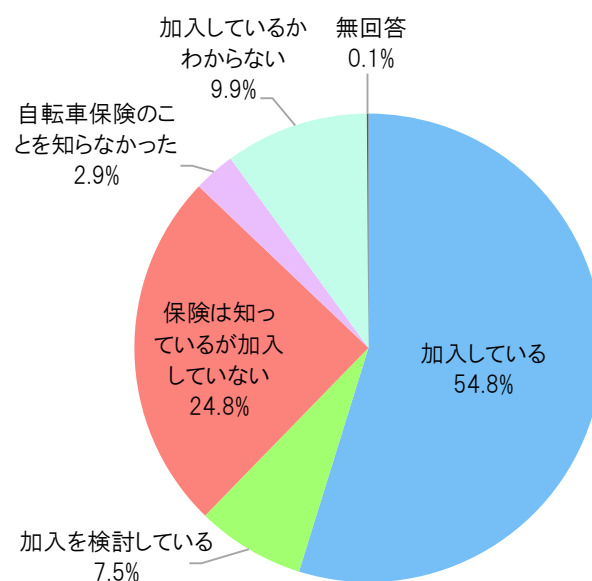


N=907
(単一回答)

8. 自転車損害賠償保険等の加入状況について

※ 対象：自転車を利用する人

自転車を利用する人の54.8%が自転車損害賠償保険等に「加入している」と回答しています。

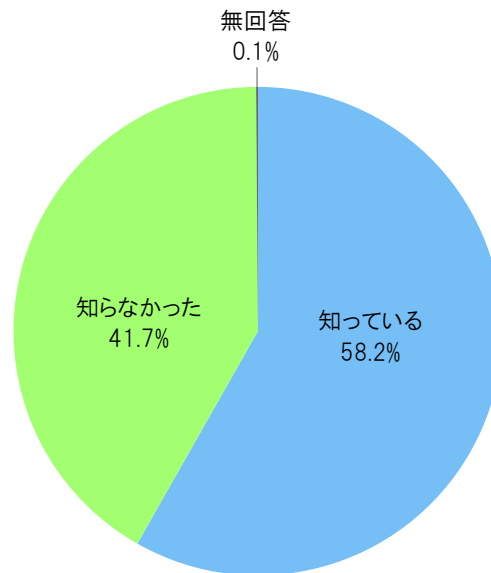


N=907
(単一回答)

9. 自転車損害賠償保険等の加入が義務化されたことについて

※ 対象：自転車を利用する人

自転車を利用する人の 58.2%が自転車損害賠償保険等の加入が義務化されたことについて「知っている」と回答しています。

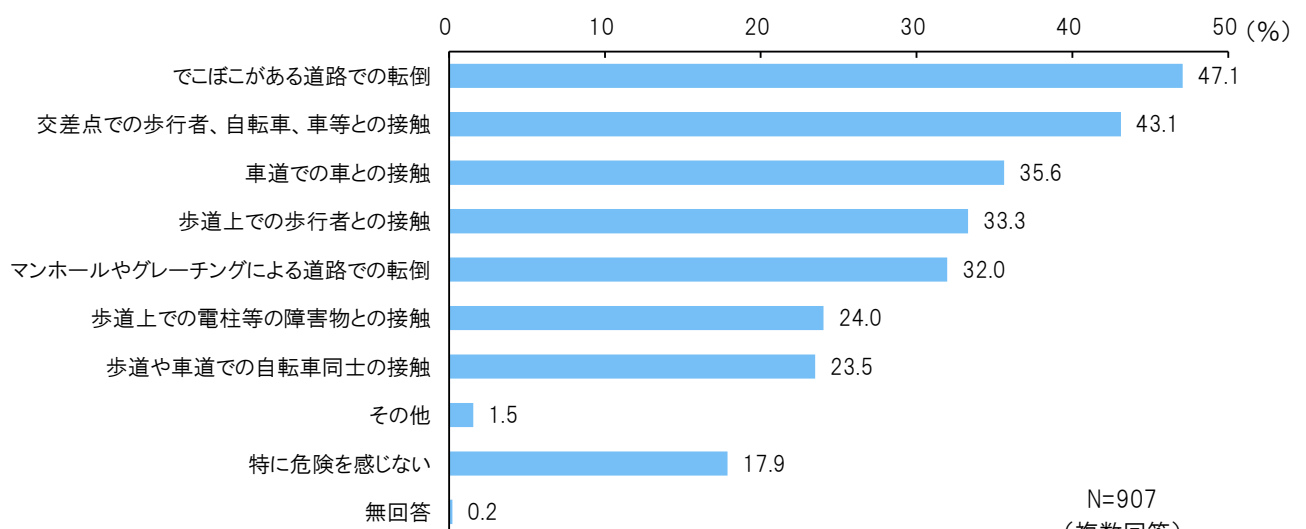


N=907
(単一回答)

10. 自転車を利用する際に危険を感じた場面について

※ 対象：自転車を利用する人

自転車を利用する際に危険を感じた場面として最も高かったものは、「でこぼこがある道路での転倒 (47.1%)」となっており、次いで、「交差点での歩行者、自転車、車等との接触 (43.1%)」、「車道での車との接触 (35.6%)」となっています。



N=907
(複数回答)

11. 自転車を利用する際のルート選択にあたり重視する事項について

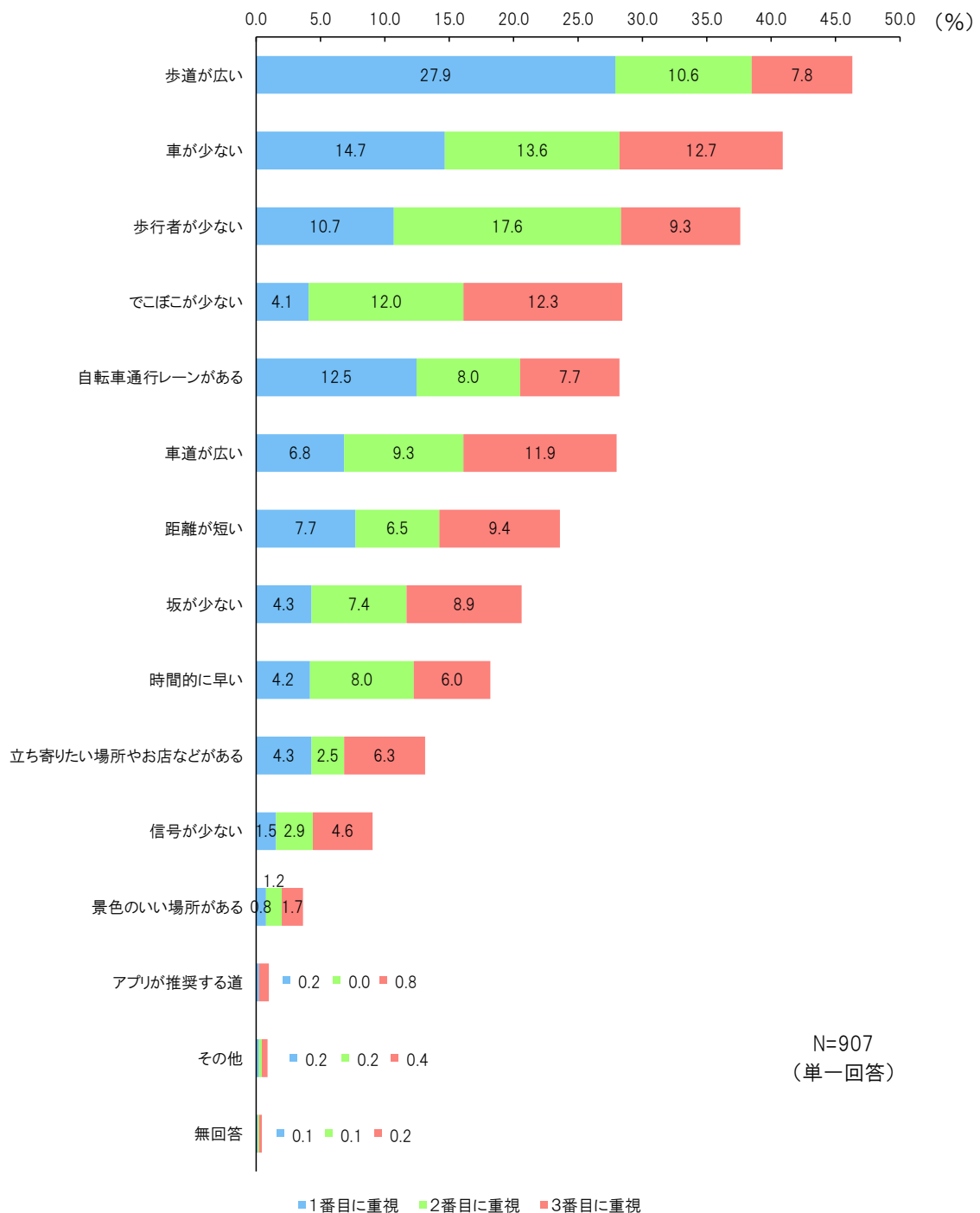
(上位3つを選択)

※ 対象：自転車を利用する人

自転車を利用する際のルート選択にあたり重視する事項としては、「歩道が広い (46.3%^(※1))」、「車が少ない (41.0%^(※1))」、「歩行者が少ない (37.6%^(※1))」となっています。

また、「1番目に重視」する事項としては、「歩道が広い (27.9%)」、「車が少ない (14.7%)」、「自転車通行レーンがある (12.5%)」が高くなっています。

※1: 「1番目に重視」、「2番目に重視」、「3番目に重視」の合計



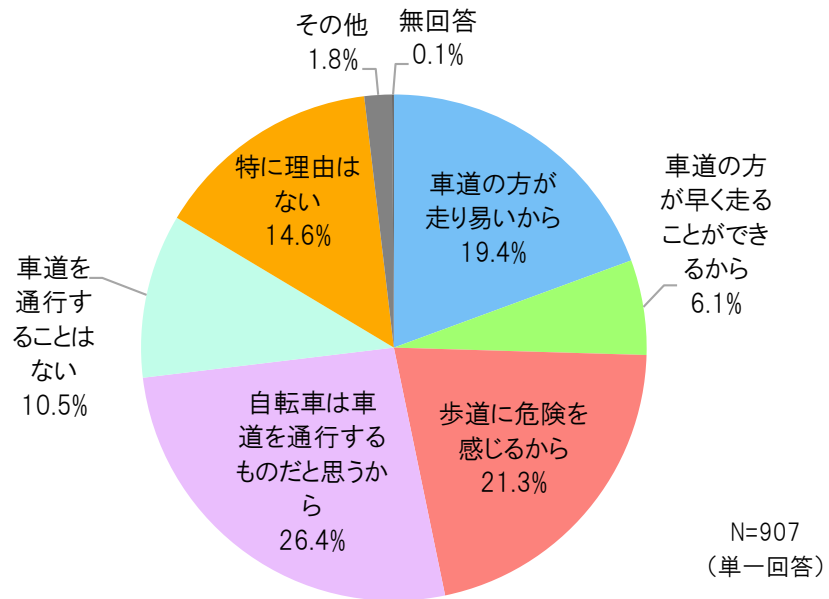
12. 歩道のある道路を自転車通行する際、車道又は歩道を通行する理由について

※ 対象：自転車を利用する人

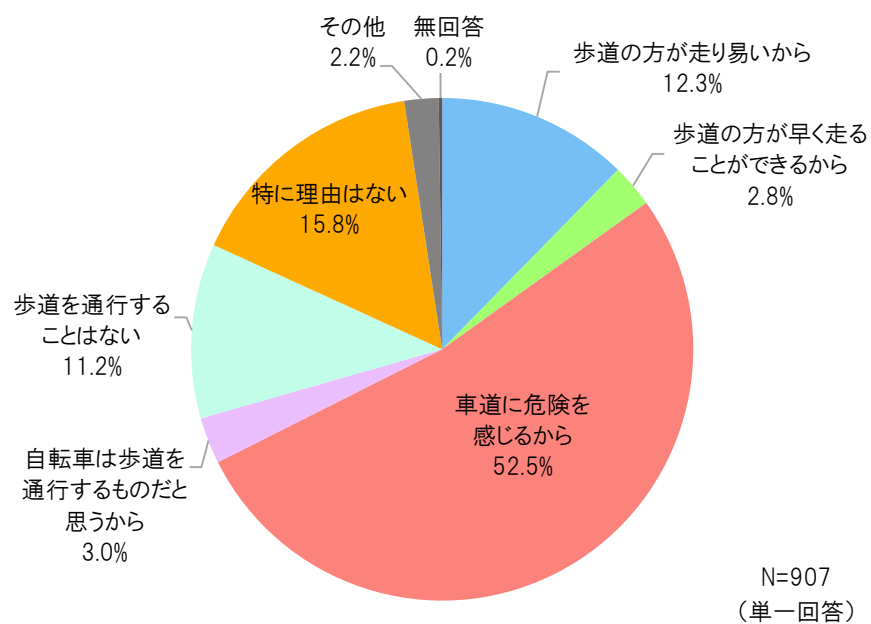
自転車で歩道のある道路を通行する際に、車道を通行する理由としては、「自転車は車道を通行するものだと思うから（26.4%）」が最も高くなっています。

歩道を通行する理由としては、「車道に危険を感じるから（52.5%）」が最も高くなっています。

[車道を通行する理由]



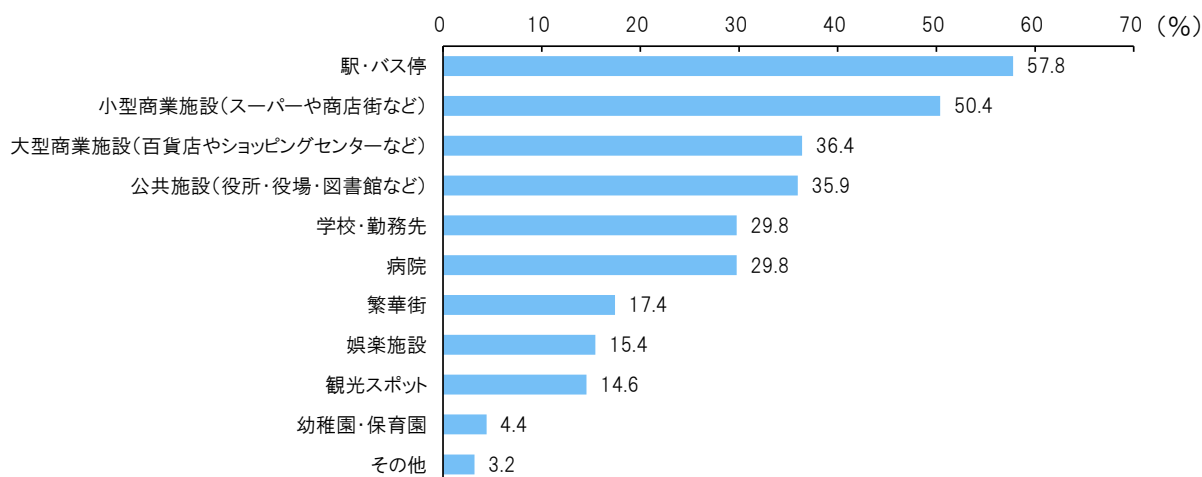
[歩道を通行する理由]



13. 駐輪場の設置を希望する場所について

※ 対象：自転車を利用する人

駐輪場の設置を希望する場所としては、「駅・バス停（57.8%）」、「小型商業施設（スーパーや商店街など）（50.4%）」、「大型商業施設（百貨店やショッピングセンターなど）（36.4%）」、「公共施設（役所・役場・図書館など）（35.9%）」が高くなっています。

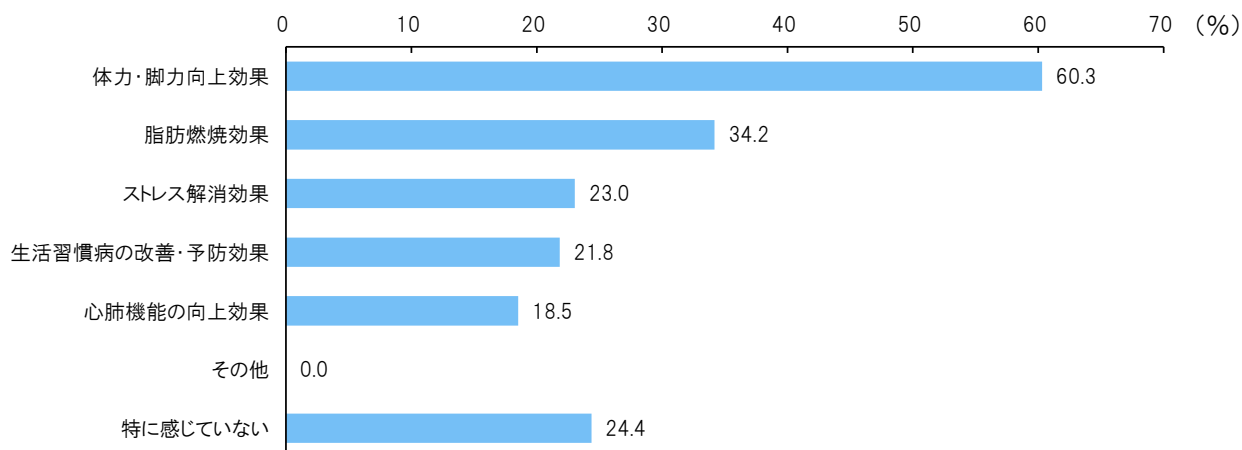


N=907
(複数回答)

14. 自転車の利用を通じた健康効果に関する認識について

※ 対象：自転車を利用する人

自転車の利用を通じた健康効果としては、「体力・脚力向上効果（60.3%）」が最も高く、次いで「脂肪燃焼効果（34.2%）」となっています。

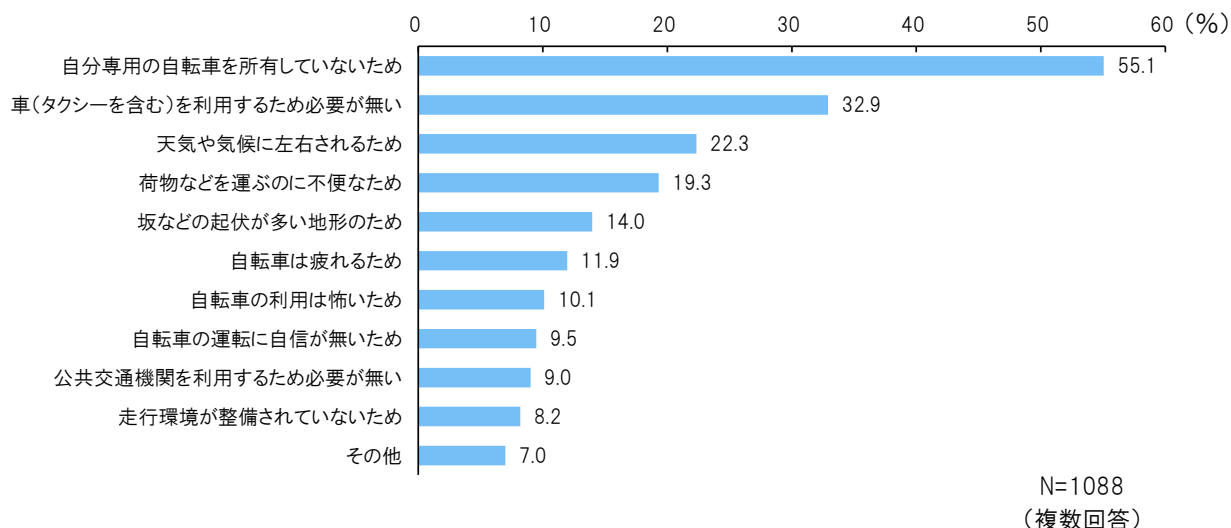


N=907
(複数回答)

15. 自転車を利用しない理由について

※ 対象：自転車を利用しない人

自転車を利用しない理由としては、「自分専用の自転車を所有していないため (55.1%)」が最も高く、次いで「車 (タクシーを含む) を利用するため必要が無い (32.9%)」となっています。

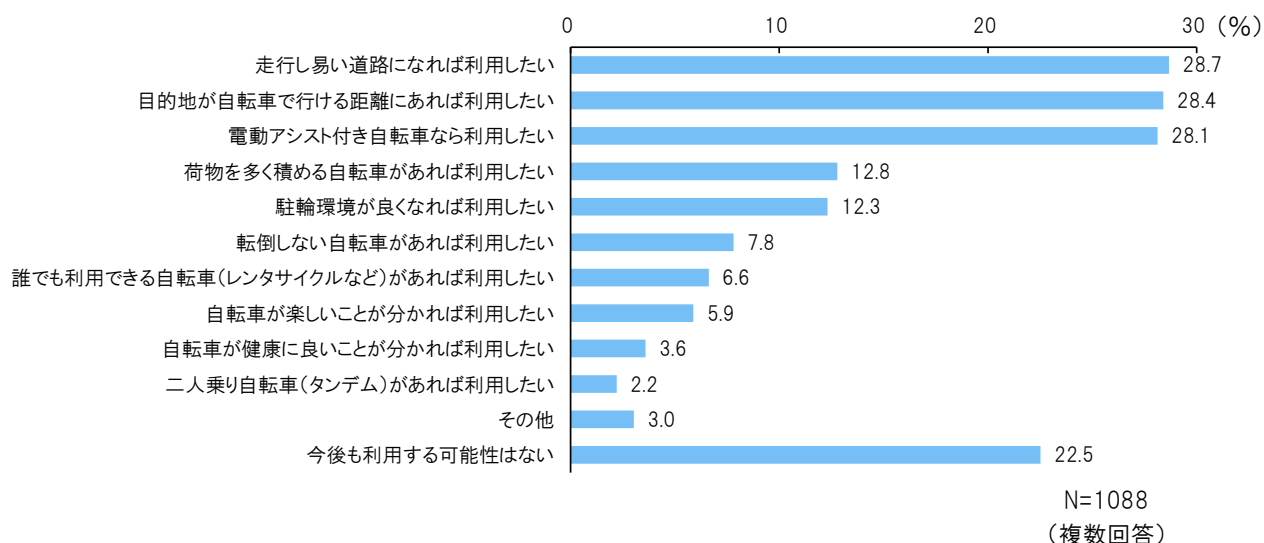


16. 自転車を利用するために必要な事項について

※ 対象：自転車を利用しない人

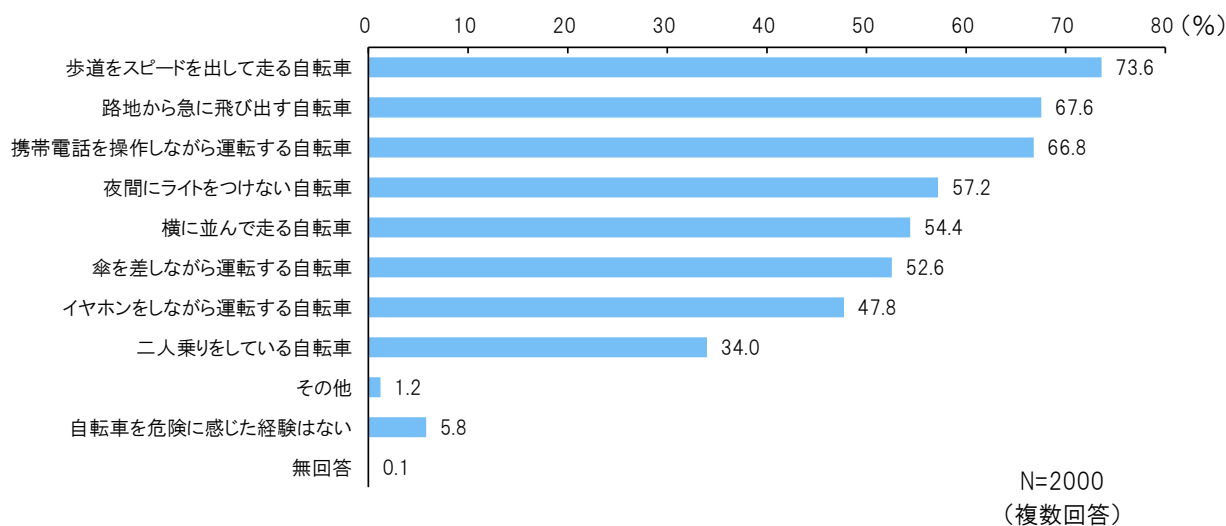
自転車を利用しない人が自転車を利用するために必要なこととしては、「走りやすい道路になれば利用したい (28.7%)」、「目的地が自転車で行ける距離であれば利用したい (28.4%)」、「電動アシスト付き自転車なら利用したい (28.1%)」が高くなっています。

また、今後も利用する可能性はない理由としては、「車があるから」、「必要ではないから」、「自転車に乗れないから」等となっています。



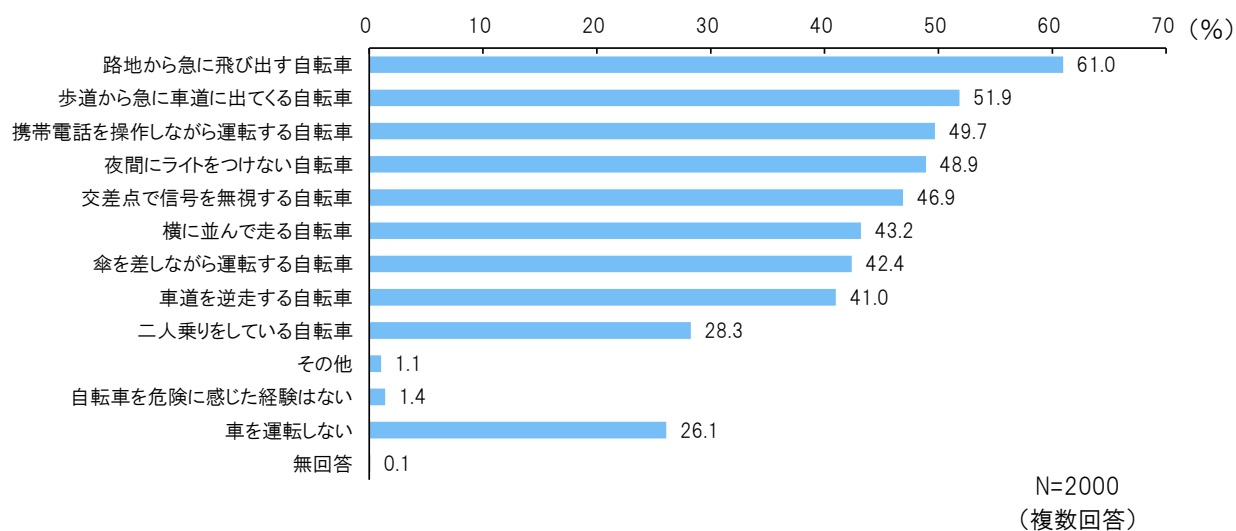
17. 歩行者として危険を感じたことのある自転車について

徒歩で移動する際に危険と感じたことのある自転車は、「歩道をスピードを出して走る自転車 (73.6%)」が最も高く、次いで「路地から急に飛び出す自転車 (67.6%)」、「携帯電話を操作しながら運転する自転車 (66.8%)」となっています。



18. 車を運転する際に危険を感じたことのある自転車について

車を運転する際に危険を感じたことのある自転車は、「路地から急に飛び出す自転車 (61.0%)」が最も高く、次いで「歩道から急に車道に出てくる自転車 (51.9%)」、「携帯電話を操作しながら運転する自転車 (49.7%)」となっています。

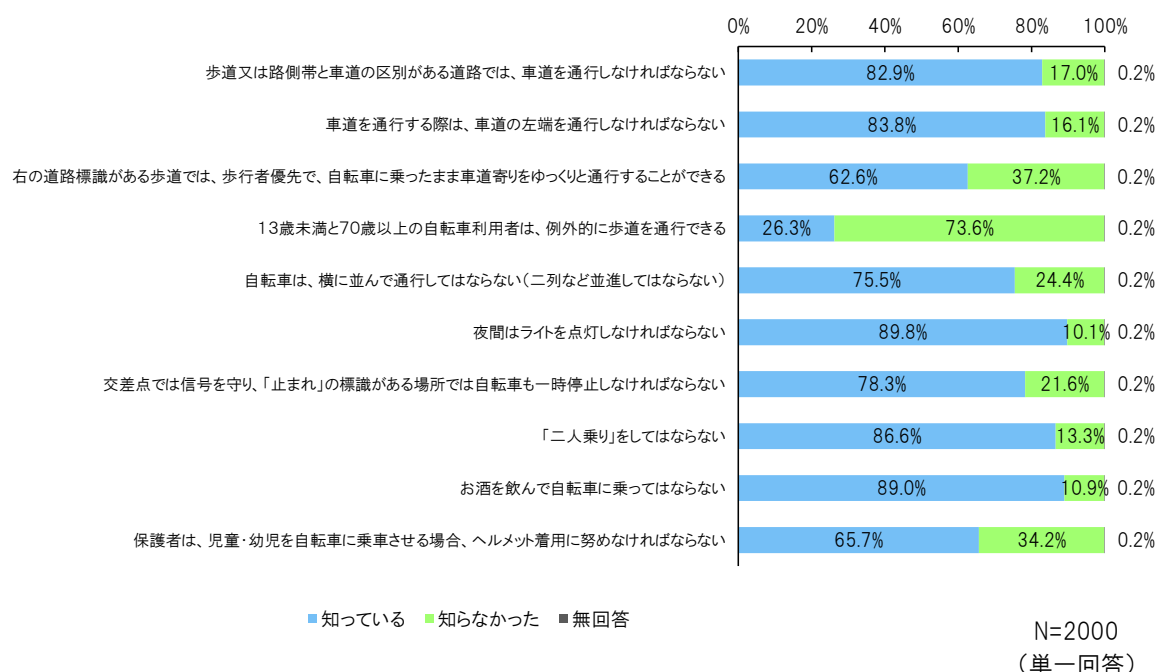


19. 自転車に関する交通ルールの認識と遵守状況について

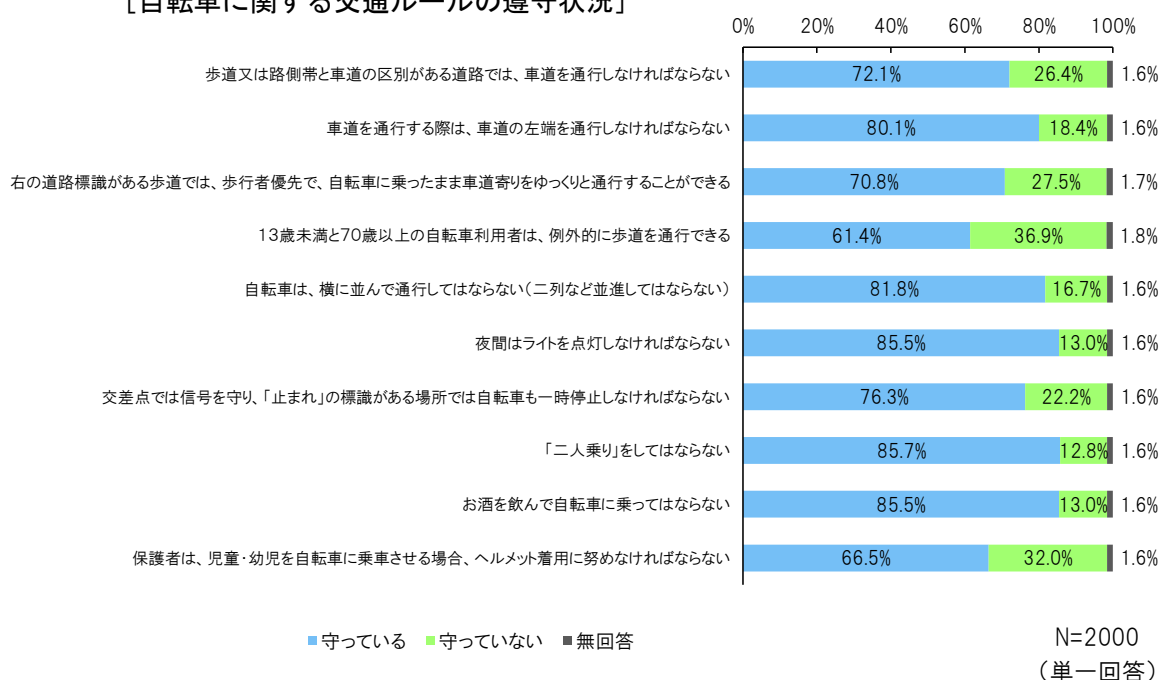
自転車に関する交通ルールについては、「13歳未満と70歳以上の自転車利用者は、例外的に歩道を通行できる」ことを知らない人が73.6%と最も高くなっており、一部の交通ルールに関する認識が低くなっています。

また、自転車に関する交通ルールの遵守状況については、「二人乗り」をしてはならない(85.7%)が最も高くなっています。

[自転車に関する交通ルールの認識]

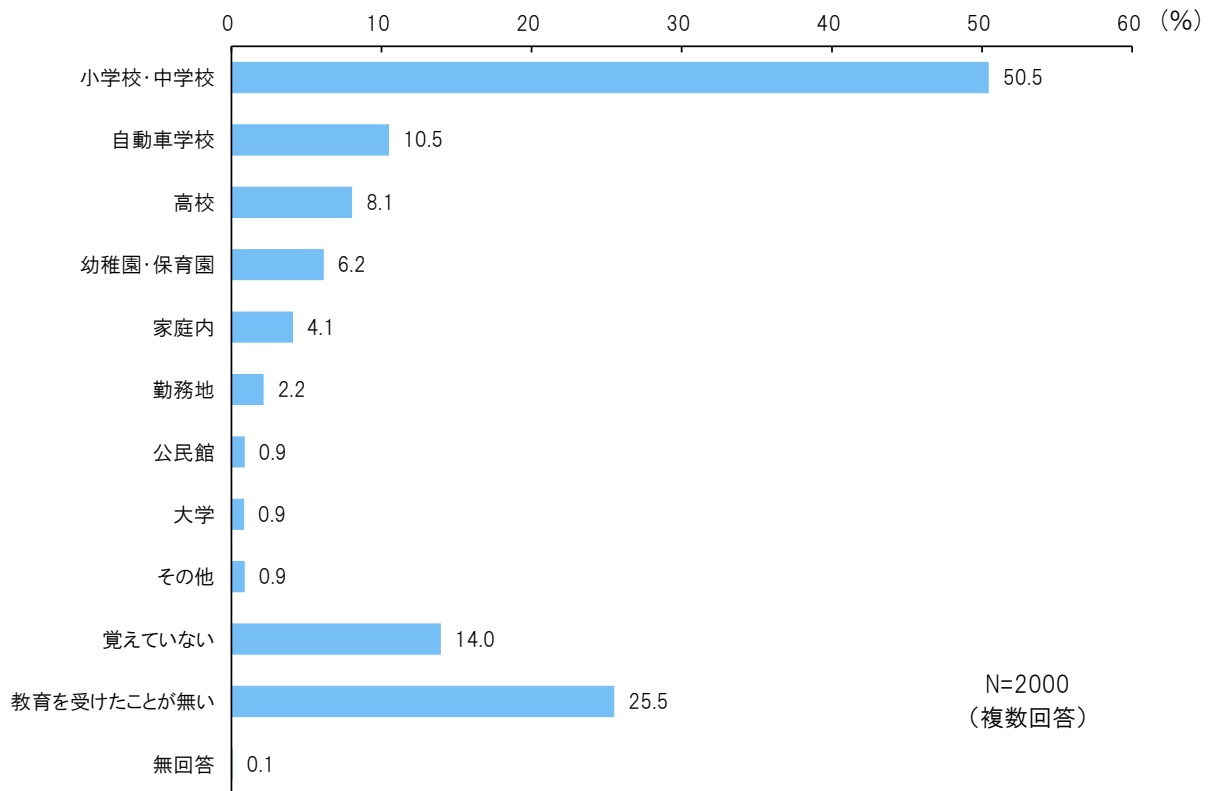


[自転車に関する交通ルールの遵守状況]



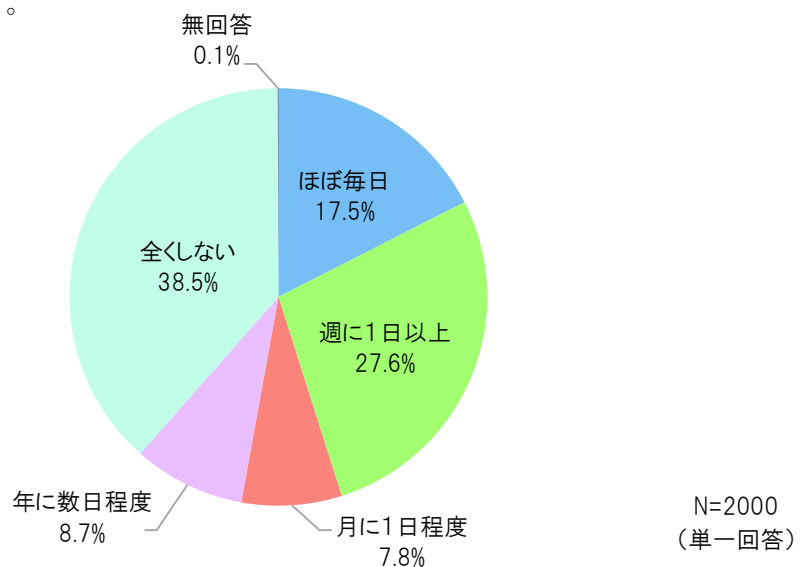
20. 自転車に関する安全教育の受講状況について

自転車に関する安全教育の受講状況については、「小学校・中学校（50.5%）」での受講が最も高くなっています。その一方で、「教育を受けたことが無い（25.5%）」も全体の4分の1程度となっています。



21. 運動習慣について

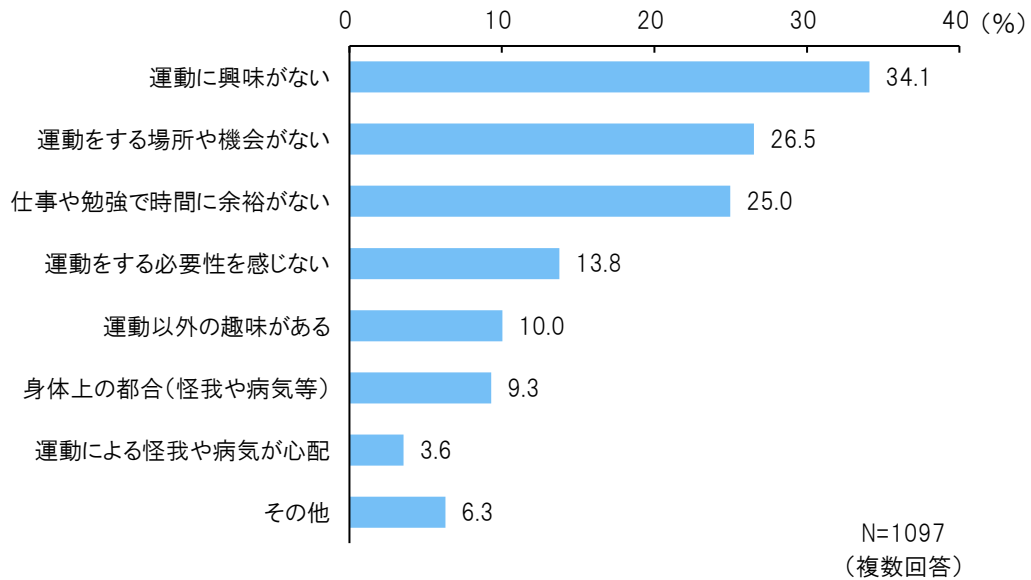
運動習慣がない（「全くしない」、「年に数日程度」、「月に1日程度」）と回答した人は、合わせて55.0%となっています。



22. 継続した運動習慣がない理由について

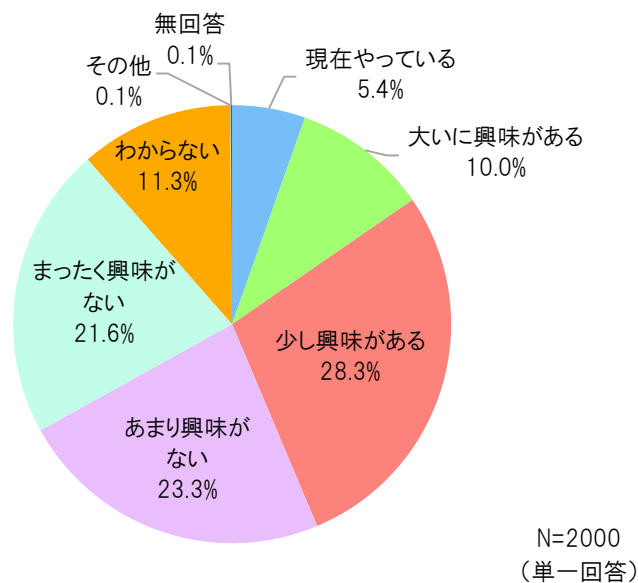
※ 対象：21で「全くしない」、「年に数日程度」、「月に1日程度」と回答した人

継続した運動習慣がない理由について、「運動に興味がない (34.1%)」、「運動をする場所や機会がない (26.5%)」、「仕事や勉強で時間に余裕がない (25.0%)」が高くなっています。その他としては、「面倒だ、やる気が出ない」、「運動がきつい、嫌い」等となっています。



23. 自転車を利用した健康づくりへの興味について

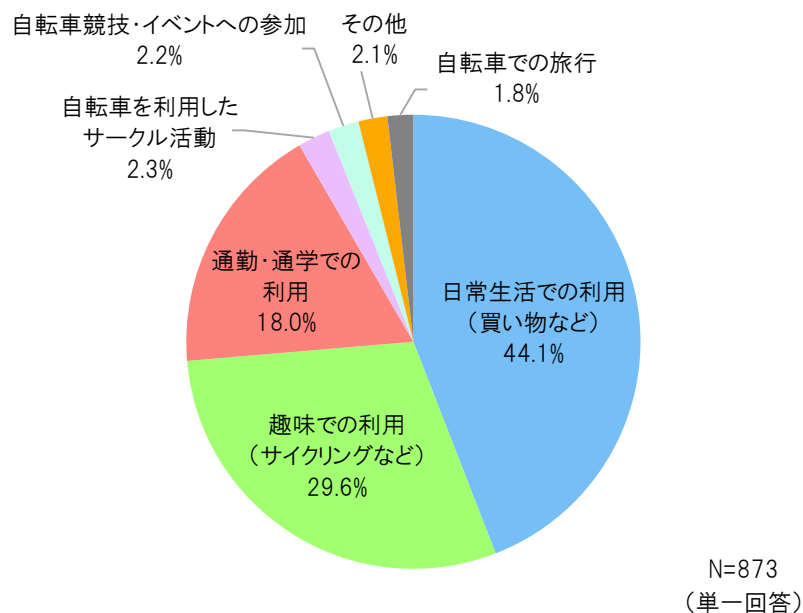
自転車を利用した健康づくりについては、「現在やっている (5.4%)」を含め、「大いに興味がある (10.0%)」、「少し興味がある (28.3%)」と4割近くが興味を持っています。



24. 自転車を利用した具体的な健康づくりについて

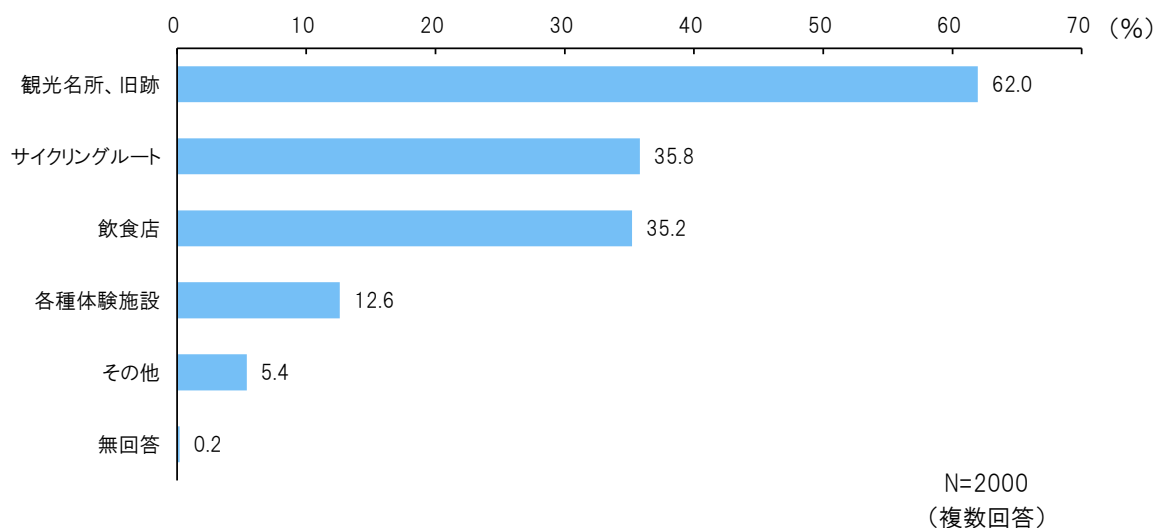
※ 対象：23で「現在やっている」、「大いに興味がある」、「少し興味がある」と回答した人

自転車を利用した健康づくりとしては、「日常生活での利用（買い物など）（44.1%）」、「趣味での利用（サイクリングなど）（29.6%）」、「通勤・通学での利用（18.0%）」が高くなっています。



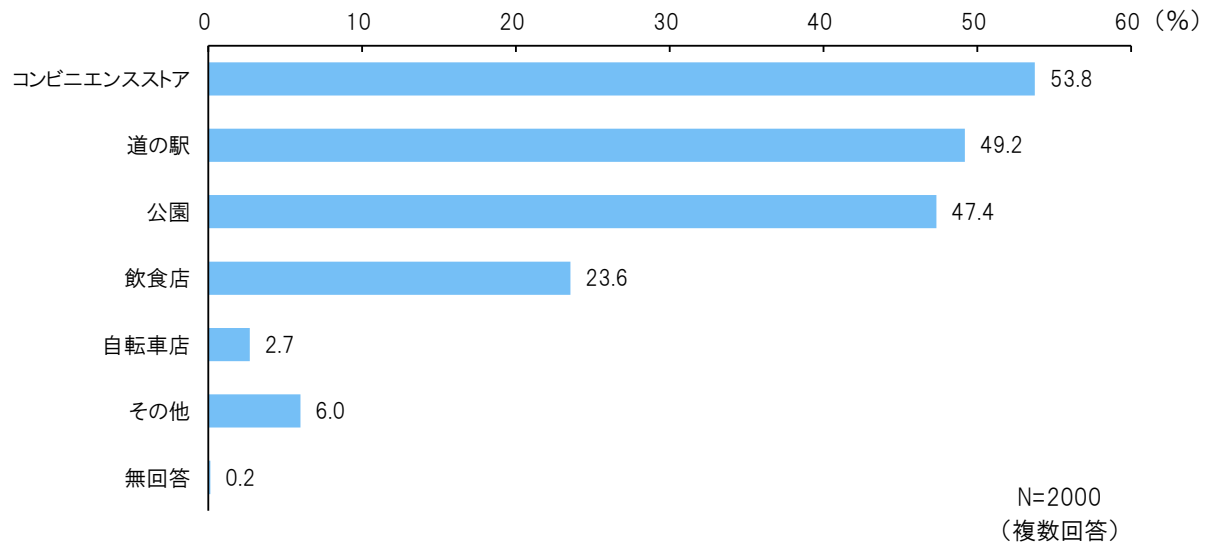
25. 自転車で観光地を周遊する際の立寄り先について

自転車で観光地を周遊する際の立寄り先としては、「観光名所、旧跡（62.0%）」、「サイクリングルート（35.8%）」、「飲食店（35.2%）」が高くなっています。その他としては、「公園」や「イベント会場」等があります。



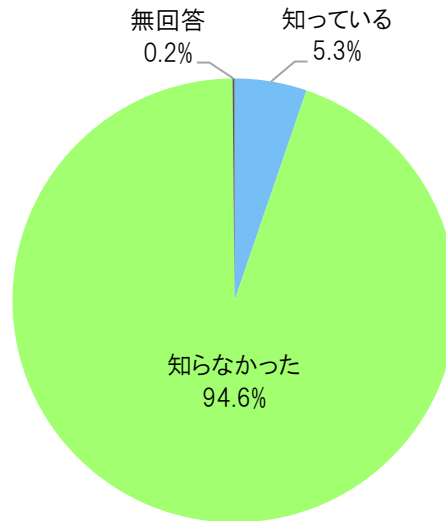
26. 自転車で長い距離を走行する際の休憩場所について

自転車で長い距離を走行する際の休憩場所としては、「コンビニエンスストア (53.8%)」、「道の駅 (49.2%)」、「公園 (47.4%)」が高くなっています。その他としては、「ショッピングモール」、「ドラッグストア」、「ホームセンター」、「休憩を取らない」等があります。



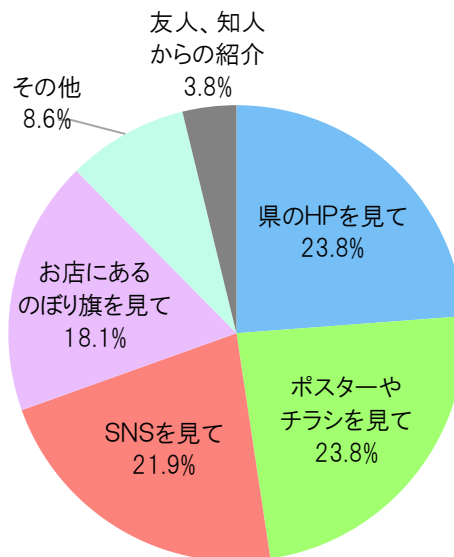
27. 福岡サイクルステーション※について

福岡サイクルステーションを「知らなかった」が94.6%となっており、「知っている(5.3%)」と回答した人の知ったきっかけとしては、「県のHPを見て(23.8%)」、「ポスターやチラシを見て(23.8%)」、「SNSを見て(21.9%)」が高くなっています。



N=2000
(単一回答)

【知っている人の知ったきっかけ】

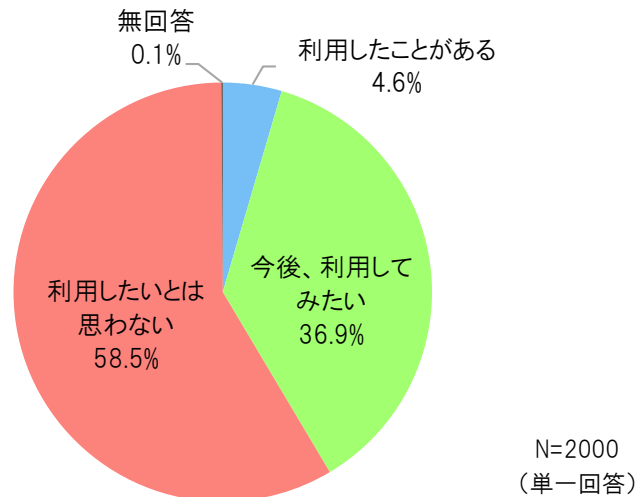


N=105
(単一回答)

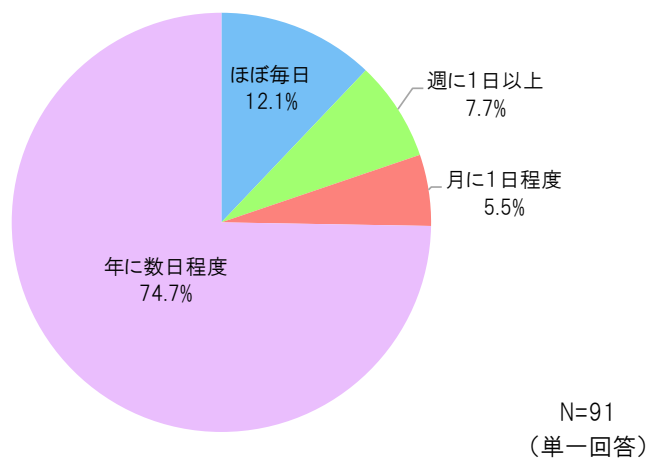
※自転車に乗る人が気軽に立ち寄れ、各種サービス（工具や空気入れの貸出、飲料水の補給等）を受けることができる施設。

28. シェアサイクル等※の利用状況について

シェアサイクル等を「利用したことがある」と回答した人は4.6%に留まっていますが、36.9%の人が「今後、利用してみたい」と回答しています。「利用したことがある」と回答した人の利用頻度は、「年に数日程度（74.7%）」が最も高く、次いで「ほぼ毎日（12.1%）」となっています。



【利用したことがある人の利用頻度】



※ シェアサイクル等・・・シェアサイクル（※1）及びレンタサイクル（※2）

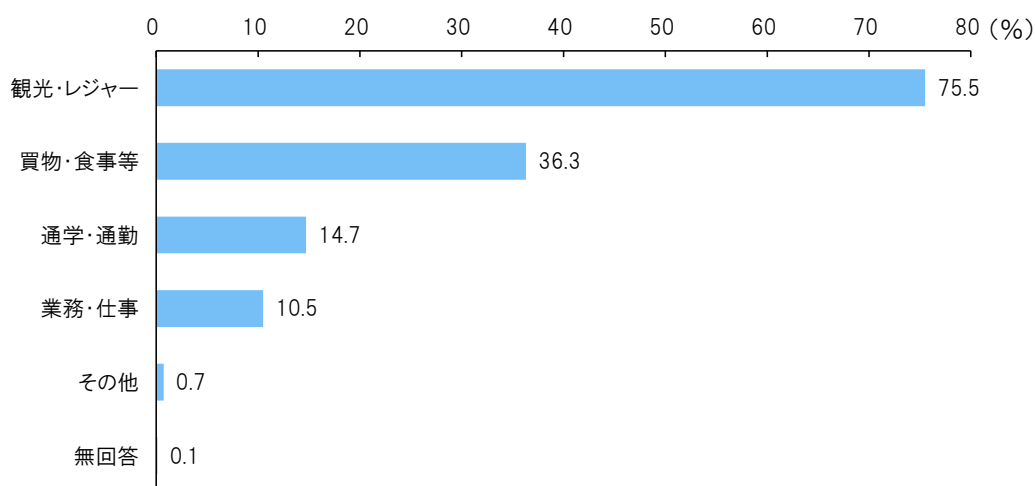
※1 複数の自転車貸出場所が設置され、どの貸出場所でも貸出・返却が可能な貸出自転車

※2 自転車貸出場所と返却場所が同一の場所で、目的地まで往復利用する貸出自転車

29. シェアサイクル等の利用目的について

※ 対象：28で「利用したことがある」、「今後、利用してみたい」と回答した人

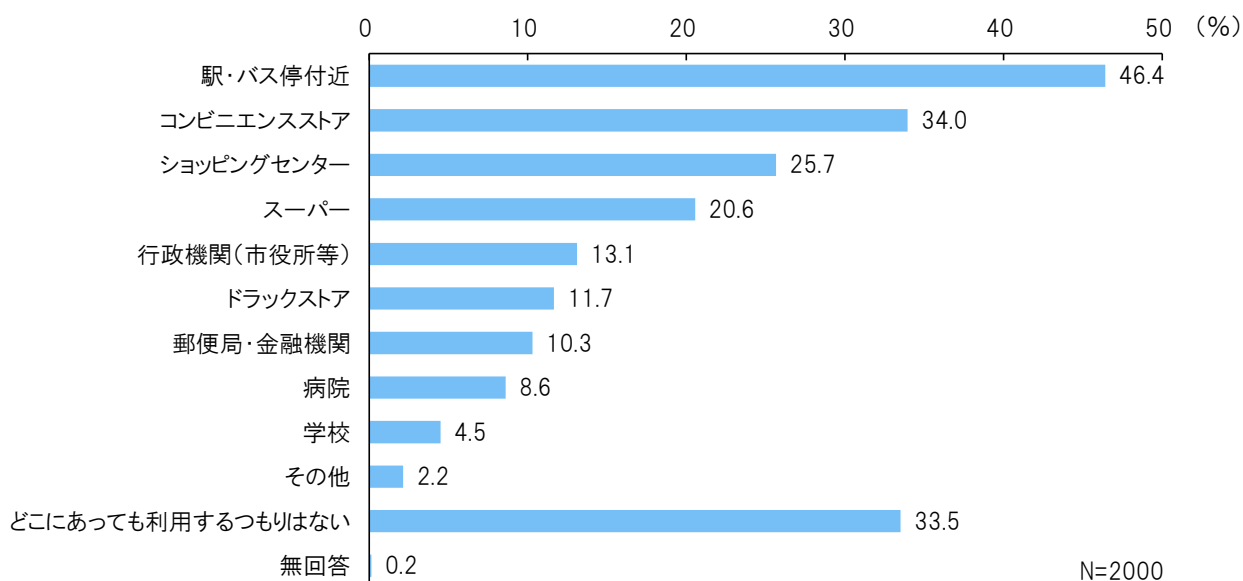
シェアサイクル等の利用目的としては、「観光・レジャー（75.5%）」、「買物・食事等（36.3%）」が高くなっています。



N=829
(複数回答)

30. シェアサイクル等の貸出・返却ポートの設置を希望する場所について

シェアサイクル等の貸出・返却ポートの設置を希望する場所としては、「駅・バス停付近（46.4%）」、「コンビニエンスストア（34.0%）」が高くなっています。

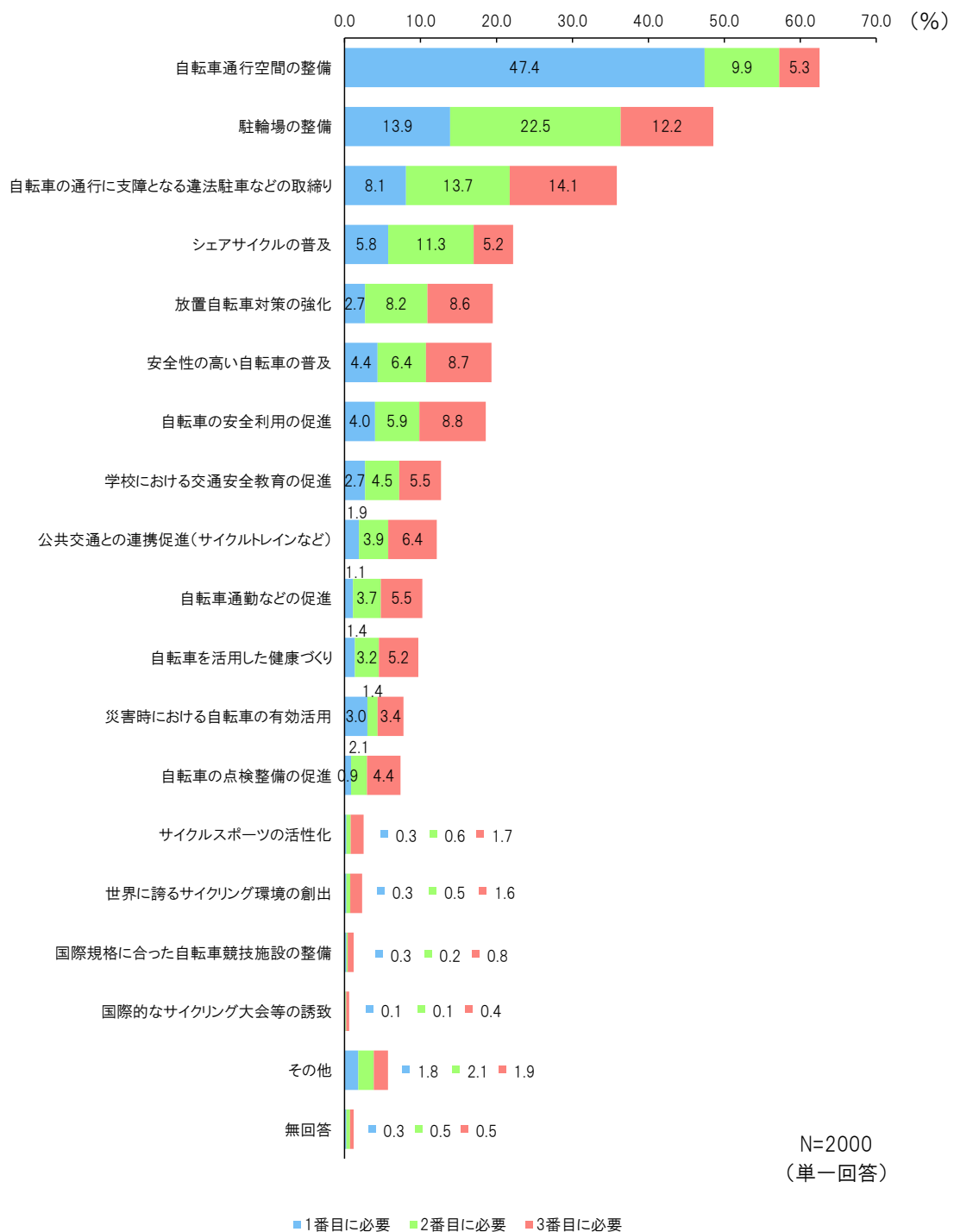


N=2000
(複数回答)

31. 自転車の利用を促進するために必要な施策について (上位3つを選択)

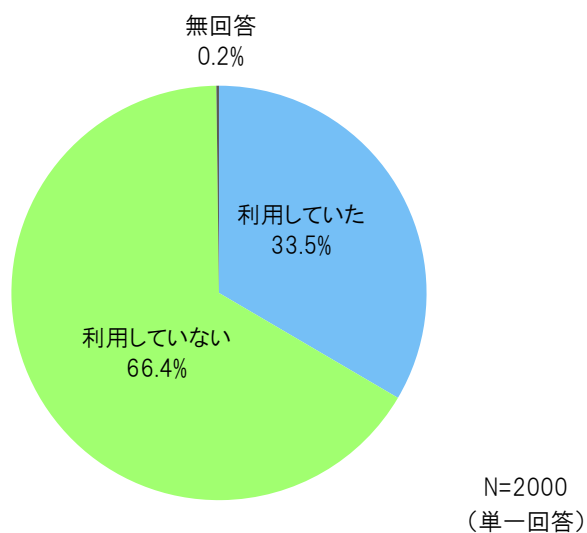
自転車の利用を促進するために必要な施策としては、「自転車通行空間の整備 (62.6%※1)」が最も高く、次いで「駐輪場の整備 (48.6%※1)」、「自転車の通行に支障となる違法駐車などの取締り (35.9%※1)」となっており、「1番目に必要」とする施策についても、同様の順位となっています。

※1: 「1番目に必要」、「2番目に必要」、「3番目に必要」の合計



32. 新型コロナウイルス感染症の流行前における日常生活での自転車利用について

新型コロナウイルス感染症の流行前において、日常生活で自転車を利用していた人は33.5%となっています。

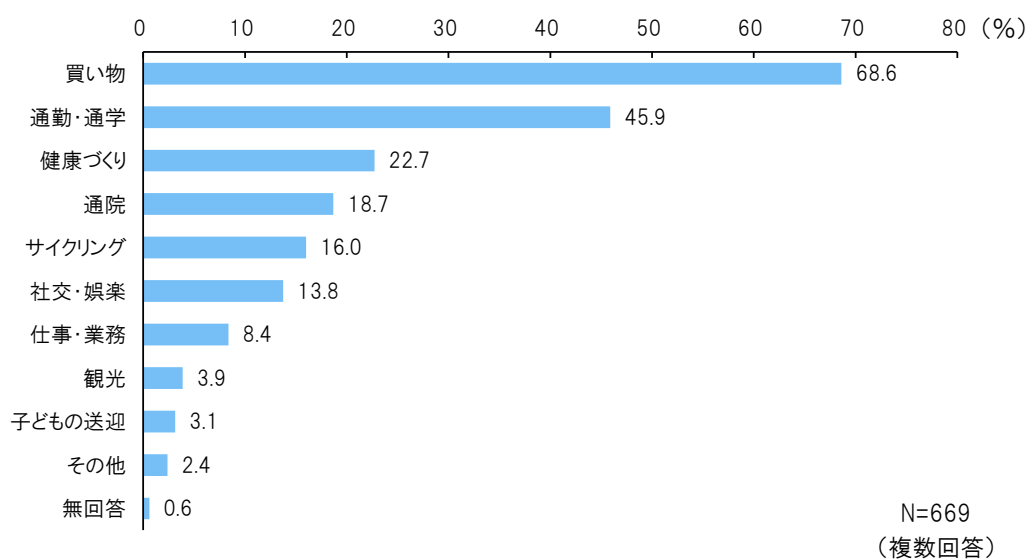


33. 新型コロナウイルス感染症の流行前における自転車を利用する目的、利用頻度等について

※ 対象：32で「利用していた」と回答した人

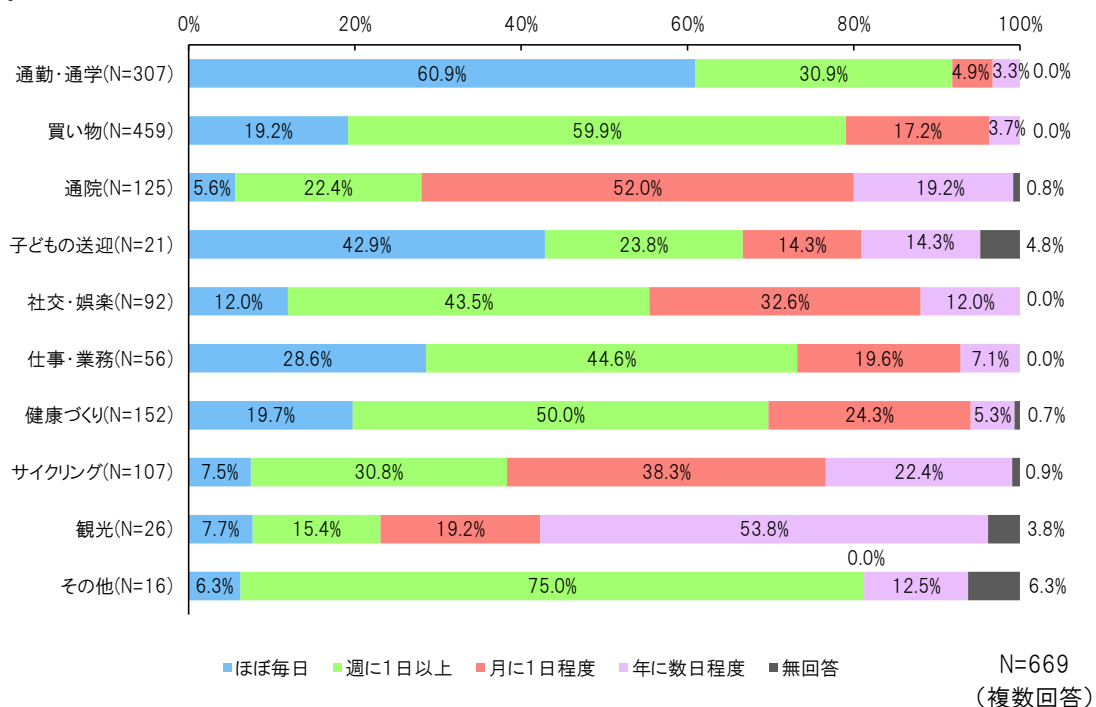
[利用目的]

自転車の利用目的は、「買い物 (68.6%)」、「通勤・通学 (45.9%)」、「健康づくり (22.7%)」が高くなっています。



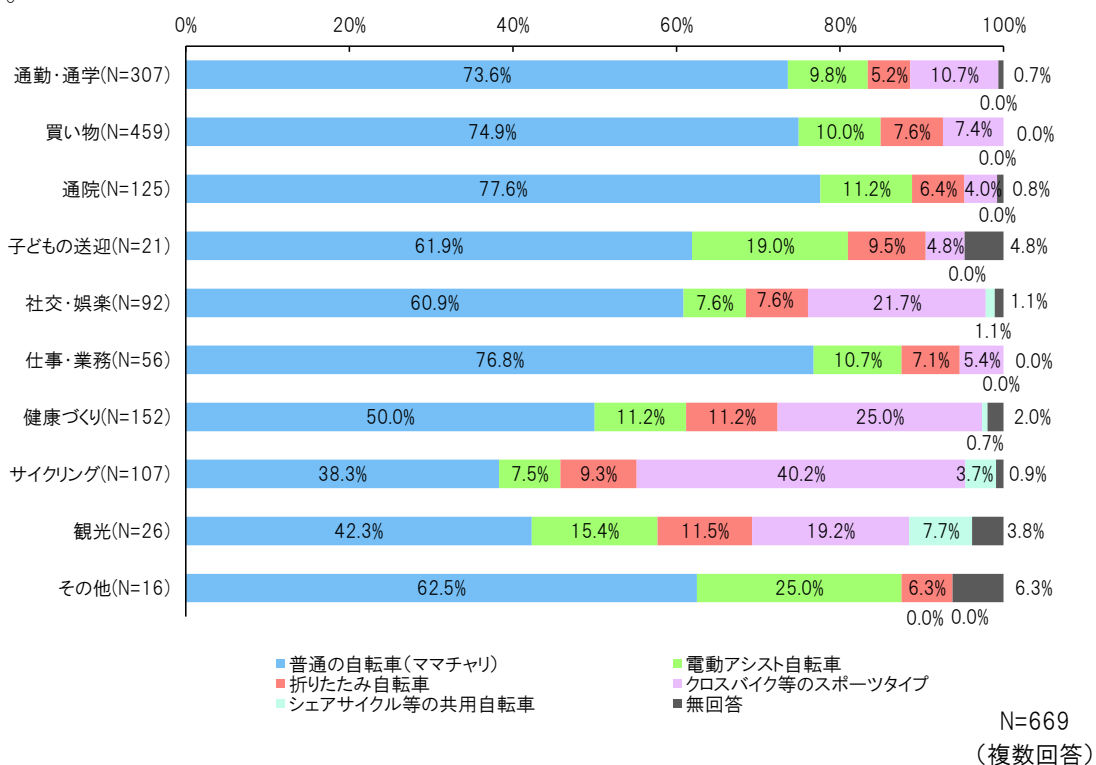
[利用頻度]

自転車の利用頻度は、「通勤・通学」「子どもの送迎」では、「ほぼ毎日」が最も高く、「買い物」「社交・娯楽」「仕事・業務」「健康づくり」では、「週に1日以上」が最も高くなっています。



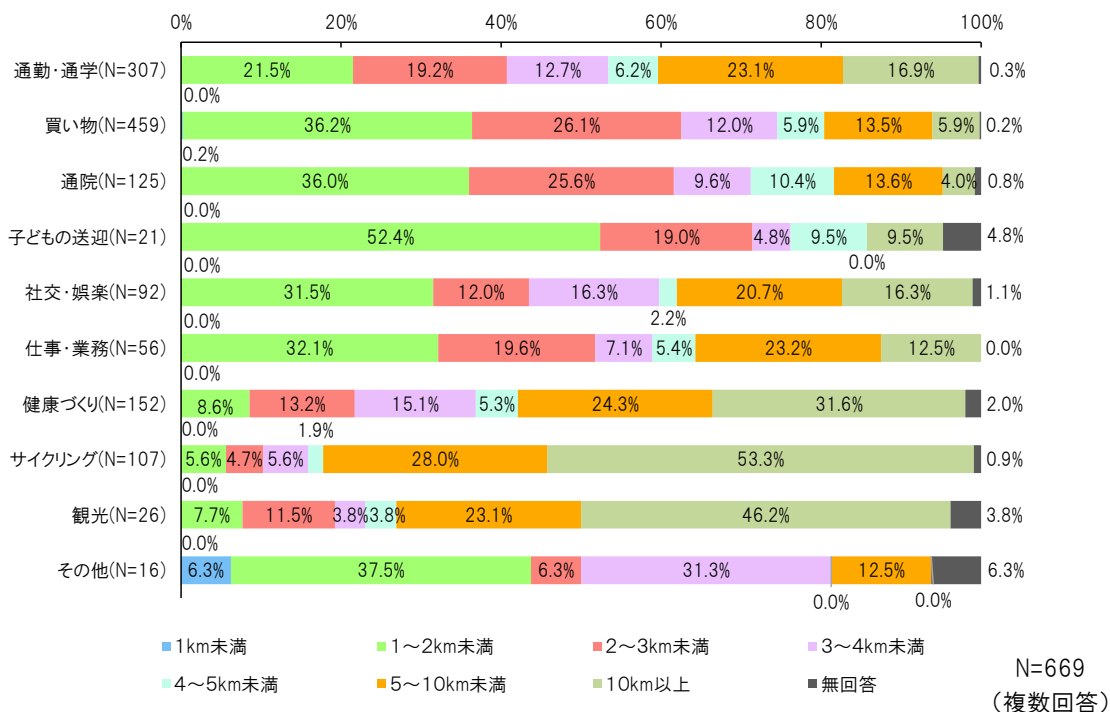
[自転車の種類]

自転車の種類は、「サイクリング」では、「クロスバイク等のスポーツタイプ」が40.2%と最も高く、それ以外の利用目的では、「普通の自転車(ママチャリ)」が最も高くなっています。



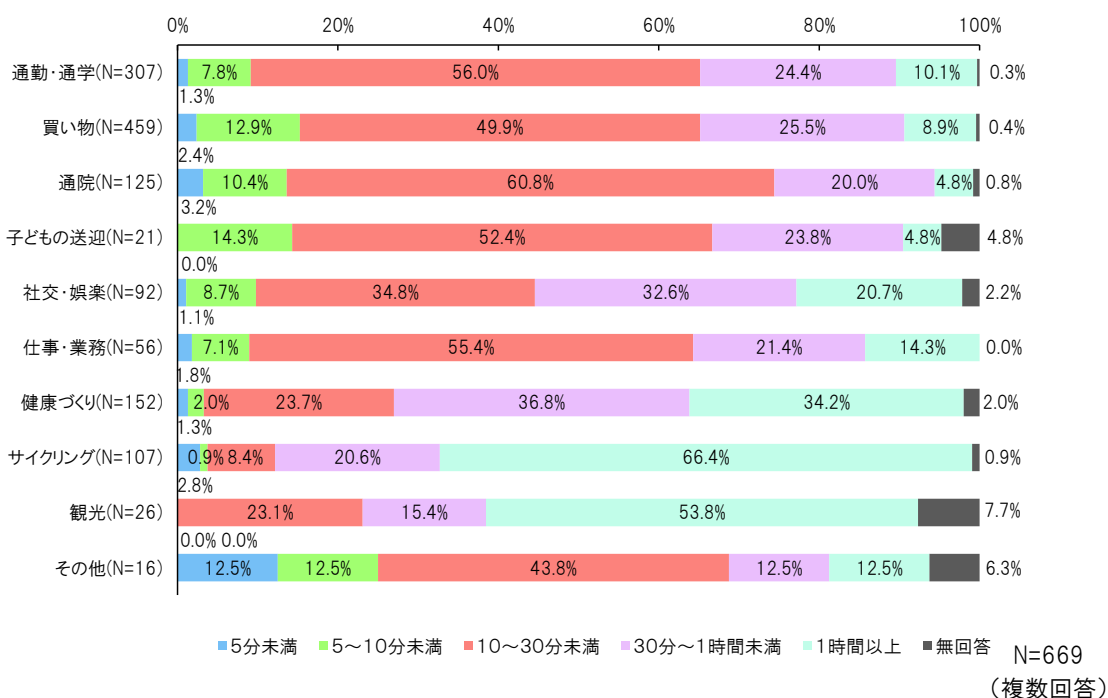
[移動距離]

自転車での移動距離は、「健康づくり」「サイクリング」「観光」では、「10km以上」が最も高く、「通勤・通学」では、「5～10km未満」が最も高くなっています。それ以外の利用目的では、「1～2km未満」が最も高くなっています。



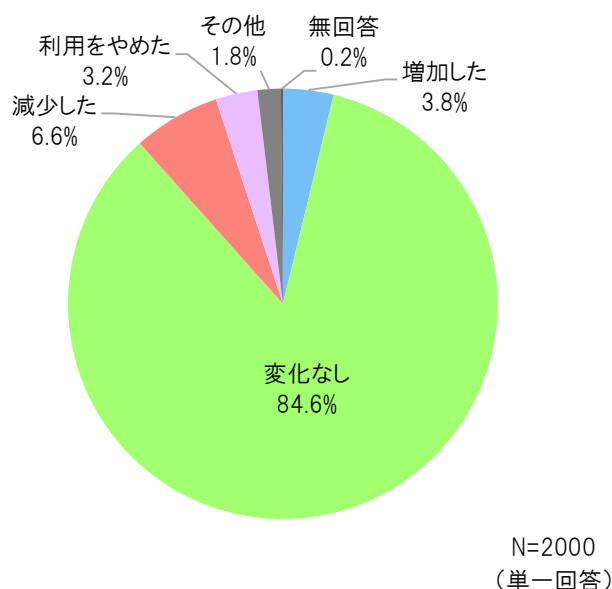
[移動時間]

自転車での移動時間について、「サイクリング」「観光」では、「1時間以上」が最も高く、「健康づくり」では、「30分～1時間未満」が最も高くなっています。それ以外の利用目的では、「10～30分未満」が最も高くなっています。

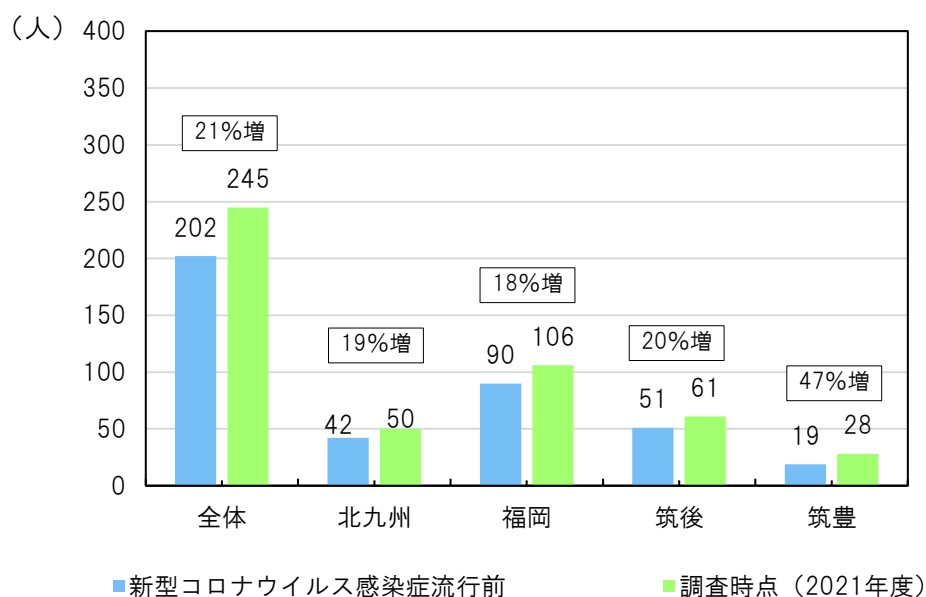


34. 新型コロナウイルス感染症の流行後における自転車の利用状況の変化について

新型コロナウイルス感染症の流行後、自転車の利用状況は「変化なし」が84.6%と最も高くなっています。「変化なし」の理由としては、自転車を利用する人は「生活は変わらないから」、「コロナは関係ないから」、自転車を利用しない人は「以前から利用していない」、「自転車を持っていない」等となっています。

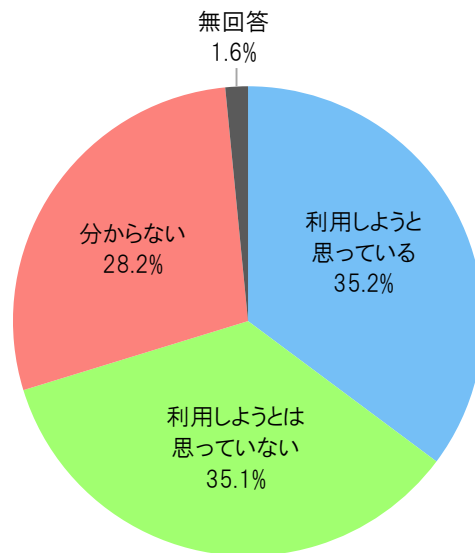


通勤時における自転車の利用者数は、新型コロナウイルス感染症流行前に比べ、全体で約2割増加しています。また、地域別にみても、全ての地域において増加傾向にあります。



35. 新型コロナウイルス感染症の収束後における自転車の利用意向について

新型コロナウイルス感染症の収束後における自転車の利用意向について、「利用しようと思っている（35.2%）」、「利用しようと思っていない（35.1%）」は同程度となっています。「利用しようと思っている」理由としては、「便利だから」、「健康のため」、「日常的に使っているから」等となっています。「利用しようと思っていない」理由としては、「自転車を持っていないから」、「もともと利用していないから」、「車があるから」等となっています。



N=2000
(単一回答)